



校長だより No.3

2025.5.8

5月の連休は、いかがお過ごしでしたか。ご家族もお子さんも休んだり、リフレッシュしたりできたでしょうか。令和7年度も12ヶ月のうちの1ヶ月が終わりました。新しい環境や人間関係にも少しずつ慣れてきているかと思いますが、心配なことがあれば、遠慮なく担任や学部主事などに相談してください。



さて、学校評価に関して、今年度の羅針盤をお伝えいたします。詳しくは、ホームページに掲載しますが、ここでは、あらましをお示します。

【令和7年度 羅針盤(具体的数値項目)】

- ①各種たよりや学校Webページの随時更新、学校公開や掲示物によって、保護者や来校者が本校の教育活動を理解できたと感じている。(90%以上)
- ②授業参観や学校行事、PTA活動に参加しやすいと保護者が評価している。(90%以上)
- ③学校間及び地域交流活動について、交流校や地域の関係者は本校の子ども理解が深まり、子どもたちの主体的行動が見られている。(80%以上)
- ④幼保、小、中学校からの相談や指導・支援、講師要請への対応、授業公開・研修会により、地域における特別支援教育の中核校としての役割を十分に果たしている。(90%以上)
- ⑤保護者は、個別の指導計画の目標設定やその手立て、達成状況に満足している。(90%以上)
- ⑥いじめや問題行動に対して、十分な取組や対応ができている。(90%以上)
- ⑦ICT機器を活用して、児童生徒の学習意欲を喚起するとともに、個別最適な学習指導を行っている。(80%以上)
- ⑧授業改善について、教職員それぞれが十分な成果をあげることができている。(90%以上)
- ⑨児童生徒の健康の増進について、個別面談、電話連絡、連絡帳、各種たより等を通して情報交換を行い、早急かつ適切な対応をしている。(90%以上)
- ⑩危機管理対応マニュアルを更新し、緊急事態や自然災害が発生したとき、地域の関係者等と連携した適切な対応をとることができる。(85%以上)
- ⑪キャリア教育の視点を踏まえて、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成したり、授業づくりを行ったりしている。(90%以上)
- ⑫高等特別支援学校及び地域関係機関と協働し、保護者に対して進路に関する情報を提供し、児童生徒の将来について十分な話し合いを行っている。(90%以上)

以上のような12項目で令和7年度の教育活動について評価していただきます。

7月と12月にアンケートを実施する予定です。よろしくお願いいたします。